

Local Area News

小学校に続き中学校も

群馬県塗装看板協（協）

群馬県塗装看板協同組合（中嶋薫理事長）は、3月31日、吾妻郡草津町・草津中学校において、壁の塗り替え塗装のボランティア活動を行った。同組合の吾妻支部である草津塗装組合の組合員を中心に、7社が参加した。

昨年・一昨年は草津小学校において、壁の塗り替え塗装を実施している。組合員にとって両校は母校であり、「新たに入学する新1年生や在学生が気持ち良く学べるように」との思いで実施した。

当日は、草津町教育長の中澤隆氏



も応援に駆け付け、組合員にエールを送った。3階教室前の壁面と廊下を塗装し、その出来栄に組合員からは「新学期の生徒の反応が楽しみ」との声が上がった。

けがや事故のない1年を祈願

群馬県建設事業（協）

群馬県建設事業協同組合（青柳剛理事長）は、4月2日、前橋市・組合事務所において、「交通並びに作業安全祈願祭」を開催した。

この行事は、同組合職員の作業・運転の安全と組合の発展を祈願するため、年度始めに毎年開催されている。

青柳理事長をはじめとする組合

役員が玉串奉奠などを行った後、青柳理事長が「新年度にあたり、どんな小さな事故も起こさないという気持ちで取り組んでもらいたい」と訓示。次いで辞令交付を行った後、職員は一齐に道路作業車に乗り込み、役員一同に見守られる中勇ましく出発した。



良き1年を祈願する青柳理事長

交通安全イベントを開催

桐生市末広町商店街（振）

桐生市末広町商店街振興組合（今川守理事長）は、4月15日、桐生市内において、交通安全イベント「すえひろでレッドカーペットを歩こう！」を初開催した。

このイベントは、ドン・キホー

テ桐生店から当商店街に伸びるコンコースにレッドカーペットを敷き、それを歩く子供たちの商店街デビューを祝うとともに、街区内の交差点で桐生警察署による「横断歩道の歩き方」レクチャーを行い、新1年生に交通ルールを学んでもらおうと実施したもの。ゴール地点では、警察音楽隊によるコンサート、G・F・I・V・Eショーなどステージ企画も実施した。

当商店街は3月、秋の防犯イベント「G・F・I・V・Eロード」などの取組みが評価され、「はばたく商店街30選」に選定されたばかり。今川理事長は「秋のイベントと併せ、今回のレッドカーペットを商店街の2大イベントに育てられれば」と語った。



LAW

マニュアル改定に伴う

講習会を開催

群馬県鐵構業（協）

群馬県鐵構業協同組合（大竹良明理事長）は、4月12日、前橋市・群馬産業技術センターにおいて、「JASS6改定に伴う鉄骨製作工場の基準マニュアル講習会」を開催した。講師は、冬木工業株式会社・技術部長の阿部利男氏。

今年1月、鉄骨工事の標準仕様書である「JASS6」が、約10年ぶりに改訂されたことを受け開催した。組合員企業から約150名が参加し、新たなマニュアルについて理解を深めた。



群馬の地酒フェスタを開催

群馬県酒造（協）

群馬県酒造協同組合（吉田幸雄理事長）は、4月19日、前橋市・ホテルラシーネ新前橋において、「第25回群馬の地酒フェスタ」を開催した。

2部構成の開催となっており、第1部は『オール群馬の地酒』お披露目会」と題して、原料米・酵母・仕込み水の全てを県産の素材で醸した地酒「舞風」の発表会を行い、関係機関等から約110名が参加した。

第2部「群馬の地酒を楽しむ会」

では、参加した18の蔵元が丹精込めて醸した地酒が振る舞われ、参加者は美味しいお酒と料理に舌鼓を打っていた。

吉田理事長は「組合員各社、どのお酒も飲みやすくして雑味のない、ふくらみのある味に仕上がった」とその出来栄に自信を示した。



春の上州どっと楽市を開催

高崎卸商社街（協）

高崎卸商社街協同組合（吉濱達三理事長）は、4月21日～22日の2日間、高崎市・ピエント高崎ビッグキューブと問屋町公園にお

いて、「上州どっと楽市」を開催した。昨年を20店舗上回る約90店舗が出店、問屋ならではの買い得価格で繊維・食品・雑貨類を販売し、イベントが繰り広げられた。

両日とも30℃近い夏日となり、外のフードブースでは冷たい飲み物やアイスが好調な売れ行きとなった。また、会場内を工夫ぐんまちゃんや草津のゆもみちゃんなど多くのゆるキャラ達が練り歩き、子供達と一緒に写真を撮るなど微笑ましい一幕が見受けられた。

来場者数は2日間合わせて約3万5,000人。冷房が効いているはずのビッグキューブも大きな熱気に包まれていた。

